

臨床研究に関する情報公開

当院倫理委員会の承認のもと、緩和ケア科では下記の臨床研究を実施いたします。
ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

【研究課題】 腹腔穿刺を施行した症例における生存期間の検討

【背景】 がん患者に観られる代表的な兆候の一つにがん性腹水があり、これは腹満感や呼吸困難、食思不振、嘔気・嘔吐、ADLの低下を生じます。腹腔穿刺による症状コントロールが広く施行される一方で、腹水中に含まれるたんぱく質の喪失が全身状態を悪化させるとの懸念もされていますが、現時点でこれに明確な根拠はありません。当院において腹腔穿刺を施行した患者さんの経過を調査し、安全で適切な腹腔穿刺の条件を探索的に検討するための研究です。

【方法】

当院緩和ケア病棟にて2015年1月以降に腹腔穿刺を施行した患者さんを対象に、診療録をもとに上記の研究を実施いたします。

【個人情報の扱いについて】

個人情報の漏えいを防止するために、個人を特定できる情報を削除し、また匿名化以前の個人情報は診療端末内でのみ扱うことで第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

上記研究の対象とならないことを希望される場合は、下記連絡先までご連絡ください。

日本赤十字社医療センター緩和ケア科

連絡先

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 TEL 03-3400-1311(代表)

担当者

伊藤哲也

研究分担者

的場元弘 高橋尚子 竹井清純 前川健一